

CE-252

日本語版ユーザーマニュアル



本ドキュメントについて

本書は ATEN ジャパン株式会社において、CE-252 取り扱いの便宜を図るため、英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く変更されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術サポート部

TEL :03-5615-5811

MAIL :support@atenjapan.jp

2013 年 4 月 16 日

ユーザーの皆様へ

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く変更されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピュータのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではございません。

キーボード、マウス、モニタ、コンピュータ等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

ATEN ジャパン製品保証規定

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応となりますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 納品日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障または破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

【製品保証のお申し込み手順】

弊社の製品保証規定に従い保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

- (1) **不具合の確認**……製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口で連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。
- (2) **本規定に基づく製品保証のご依頼**……(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『製品納品日が証明できる書類』を用意して、製品を購入された販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。
- (3) **製品の発送**……不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品／液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～1 ヶ月	初期不良、新品交換※1
	～3 年	無償修理
	3 年以上	有償修理※2
②液晶ディスプレイ搭載製品	製品納品日～1 ヶ月	初期不良、新品交換※1
	～2 年	無償修理
	2 年以上	有償修理※2

※1…製品納品日から30 日以内に弊社または販売店に申告を頂いた不具合を初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途お問い合わせください。

※ケーブル類、電源アダプタ、その他レールキット等のアクセサリ類はDOA・初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL(生産終了)が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。

※本保証期間は2007年9月1日以降にご購入された場合に適用されます。それ以前に購入された製品については、1年間の保証となります。

【補足】

- ・ 本規定はATEN/ALTUSEN ブランド製品に限り適用します。
- ・ ケーブル類・電源アダプタは初期不良対応に準じます。
- ・ 初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。
- ・ 製品保証を受けるにあたり、製品の納品日が証明できない場合は製品のシリアルナンバーから判別した製造日を起算日とします。ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、全て有償修理とさせていただきます。

製品についてのお問い合わせ

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

購入前のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 営業推進部 TEL:03-5615-5810 MAIL:sales@atenjapan.jp
購入後のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 技術サポート部 TEL :03-5615-5811 MAIL :support@atenjapan.jp

目次

FCC.....	8
RoHS.....	8
SJ/T 11364-2006	8
安全にお使い頂くために.....	9
一般的な注意.....	9
ラックへのマウント.....	11
同梱品.....	12
本マニュアルについて.....	13
マニュアル表記について.....	14
第1章 はじめに.....	15
概要.....	15
特長.....	16
必要システム構成.....	17
コンソール.....	17
コンピュータ.....	17
ケーブル.....	17
製品各部名称.....	18
フロントパネル.....	18
CE-252R フロントパネル.....	19
CE-252L/CE-252R リアパネル.....	21
第2章 ハードウェアセットアップ.....	22
ラックマウント.....	22
セットアップ.....	24
デバイスの接地.....	24
デバイスの接続.....	26
接続図.....	27
第3章 操作方法.....	28
アクセス方法.....	28
ホットキー操作.....	28
オートスキャンモード(ASM).....	29
スキャンインターバルの変更.....	29
ゲイン調整.....	30
ローカルコンピュータへのアクセス.....	30

LED 表示	31
CE-252L (ローカルユニット)	31
CE-252R (リモートユニット)	31
付録	32
製品仕様	32
VGA ピンアサイン	34
TP 配線図	34
TP ピンアサイン	34
トラブルシューティング	35
SPHD コネクタについて	35

FCC

本製品は FCC Class A 装置です。一般家庭でご使用になると、電波干渉を起こすことがあります。その際には、ユーザーご自身で適切な処置を行ってください。

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 に準拠したデジタル装置 Class A の制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、商業目的の使用において、有害な障害が発生しないよう、基準に沿った保護を提供する為のものです。

この操作マニュアルに従わずに使用した場合、本製品から発生するラジオ周波数により、他の通信機器に影響を与える可能性があります。

また、本製品を一般住宅地域で使用した場合、有害な電波障害を引き起こす可能性もあります。その際には、ユーザーご自身の負担で、その障害を取り除いてください。

RoHS

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称 RoHS 指令に準拠しております。

SJ/T 11364-2006

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅	汞	镉	六价铬	多溴联苯	多溴二苯醚
电器部件	●	○	○	○	○	○
机构部件	○	○	○	○	○	○

- : 表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T 11363-2006规定的限量要求之下。
- : 表示符合欧盟的豁免条款，但该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。
- ×: 表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。



安全にお使い頂くために

一般的な注意

- ◆ 製品に同梱されるドキュメントは全てお読みください。またドキュメント類は全て保存してください。
- ◆ 製品に関する注意・説明に従って取り扱ってください。
- ◆ 落下による事故・製品の破損を防ぐため、設置場所は不安定な面(台車、簡易的なスタンドやテーブル等)を避けるようにしてください。
- ◆ 製品が水に濡れるおそれのあるような場所で使用しないでください。
- ◆ 製品は熱源の近く、またはその熱源の上などで使用しないでください。
- ◆ 製品のケースには必要に応じて通気口が設けられています。通気口のある製品は、安定した運用を行うため、また製品の過熱を防ぐために、開口部を塞いだり覆ったりしないでください。
- ◆ 製品をベッドやソファ、ラグなどの柔らかいものの上に置かないでください。開口部が塞がれ、適切な通気が確保できずに製品が過熱する恐れがあります。
- ◆ 製品にいかなる液体もかからないようにしてください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、乾いた雑巾でプラグ周りのホコリを掃除してください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。
- ◆ 製品はラベルに記載されたタイプの電源に接続して運用してください。電源タイプについて不明な場合は、購入された販売店もしくは電気事業者にお問い合わせください。
- ◆ 製品は相間電圧 230V の配電装置向けに設計されています。
- ◆ 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。人が通行するような場所避けて電源コードを設置してください。
- ◆ 電源の延長コードや電源タップを使用する場合は、合計容量とコードまたはタップの仕様が適合していることを確認してください。
- ◆ 突然の供給電力不安定や電力過剰・電力不足からお使いのシステムを守るために、サージサプレッサー、ラインコンディショナー、または無停電電源装置(UPS)をご使用ください。
- ◆ システムケーブルや電源ケーブルは丁寧に取り扱いってください。これらのケーブル類の上には何も置かないようにしてください。
- ◆ ホットプラグ対応パワーサプライの取り付け、または取り外しする場合は、以下の注意事項に従ってください。
 - 電源ケーブルを接続する前に、パワーサプライのセットアップを行ってください。
 - パワーサプライを取り外す前に電源ケーブルを抜いてください。
 - お使いのシステムが複数のパワーサプライをお使いである場合、パワーサプライからすべての電源ケーブルを抜いてお使いのシステムから切り離してください。

- ◆ 危険な電圧ポイントへの接触やショートによって、発火したり感電したりするおそれがありますので、キャビネットのスロットには何も挿入しないでください。
- ◆ 装置をご自身で修理せず、何かありましたら技術サポートまでご相談ください。
- ◆ 下記の現象が発生した場合、コンセントをはずして技術サポートに修理を依頼してください。
 - 電源コードが破損した。
 - 装置の上に液体をこぼした。
 - 装置が雨や水にぬれた。
 - 装置を誤って落下させた、ないしはキャビネットが破損した。
 - 装置の動作に異変が見られる。(修理が必要です)
 - 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
- ◆ 技術サポートの修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、製品マニュアルに従って操作してください。

ラックへのマウント

- ◆ ラックでの作業を始める前に、スタビライザーがラックに固定され床に接していること、また、ラック全体が安定した場所に置かれていることを確認してください。作業前にフロントとサイドのスタビライザーをシングルラックに取り付けるか、多機能ラックをフロントスタビライザーに取り付けてください。
- ◆ ラックには下から上に向かって、一番重いアイテムから順番に取り付けてください。
- ◆ デバイスを拡張する前にラックが水平で安定していることを確認してください。
- ◆ デバイスレールのリリース用ラッチを押してラックからデバイスの出し入れをする際にはスライドレールに指を挟まないようご注意ください。
- ◆ デバイスがラックに挿入されたら、注意してレールをロックする位置までスライドしてください。
- ◆ ラックに供給する AC 電源の分岐回路が過剰供給にならないようご注意ください。ラック全体の電源負荷は分岐回路の 80%を越えないように設定する必要があります。
- ◆ ラックへの通気を十分に確保してください。
- ◆ ラックに設置されているデバイスが動作している際に、デバイスを踏んだりデバイスによじ登ったりしないでください。

同梱品

CE-252 製品パッケージには下記のアイテムが同梱されています。

- ◆ CE-252 L KVM エクステンダー (ローカルユニット) ×1
- ◆ CE-252 R KVM エクステンダー (リモートユニット) ×1
- ◆ カスタム KVM ケーブル ×2
- ◆ 電源アダプタ ×1
- ◆ ラックマウントキット ×2
- ◆ 多言語版クイックスタートガイド ×1

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡ください。

本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しい使用方法により、本製品および接続する機器を安全にお使いください。

本マニュアルについて

このユーザーマニュアルは、CE-252 に関する情報や使用法について説明しており、取り付け・セットアップ方法、操作方法のすべてを提供します。

マニュアル構成は下記のようになっています。

第1章 はじめに: CE-252 を紹介します。特長および機能の概要および製品各部名称について説明しています。

第2章 ハードウェアセットアップ: CE-252 のラックマウント、接地方法、およびデバイスの接続方法について説明しています。

第3章 基本操作: CE-252 の機能概要および操作方法について説明しています。

付録 製品の仕様および関連する技術情報や操作方法について説明しています。

マニュアル表記について

[]

入力するキーを示します。例えば[Enter]はエンターキーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl] + [Alt]のように表記してあります。またホットキー操作のようにキーを連続して押す場合は、[Ctrl] , [Alt] , [Shift]のようにコンマ(,)を挟んで表記してあります。

1.

番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。

◆

◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。

→

矢印は操作の手順を示します。例えばStart → Runはスタートメニューを開き、Runを選択することを意味します。



重要な情報を示しています。

第1章 はじめに

概要

CE-252 は KVM スイッチの遠隔操作を可能にする製品です。ローカルユニットとリモートユニットともに PS/2 インターフェースを有し、最大で 300m離れたところから操作することができます。

CE-252 は KVM スイッチと併用することにより、たくさんのコンピュータを切り替えて操作することができます。また、リモートユニットにはさらに別のコンピュータを接続し、操作することも可能です。

CE-252 は自動ゲイン調整機能を有し、ローカルとリモートユニット間(カテゴリ 5e LAN ケーブル使用)の距離に合わせて信号補正を行います。これによって、低コストで高解像度のビデオを転送することが可能です。

CE-252 は ATEN 独自開発の ASIC を搭載し、高信頼性と互換性を実現します。また、この ASIC は自動距離検出および信号補正の機能を備えております。

セットアップは極めて簡単です。まず CE-252L (ローカルユニット) にコンピュータ本体または KVM スイッチを接続します。続いて、カテゴリ 5 ケーブルでローカルユニットとリモートユニットを接続(最大延長距離 300m)します。最後にリモートユニットにリモートコンソールを接続すれば完了です。

特長

- ◆ ローカル/リモートの各ユニット間の距離は、カテゴリ 5e LAN ケーブルで最大 300mまで延長可能
- ◆ デュアルコンソール対応—ローカル/リモート両方のコンソールでシステムコントロールが可能
- ◆ リモートユニットにはコンピュータを追加接続可能
- ◆ 優れた信頼性と互換性を持つ ATEN 独自開発の ASIC 搭載
- ◆ PS/2 マウスおよび Microsoft IntelliMouse に対応
- ◆ ローカル/オートモードはプッシュボタンにより切替選択が可能
- ◆ ホットキー操作可能
- ◆ VGA 解像度—最大 1,600×1,200@60Hz
- ◆ VGA、SVGA、マルチシンクモニタ対応
- ◆ ローカルコンソールモニタは DDC2B 準拠
- ◆ 2種類のゲイン調整機能(マニュアルモードとオートモード)で最適画質を実現
 - 可変ゲインコントローラー—手動で信号の強さを調整
 - 自動ゲインコントローラー—自動で信号の強さを調整
- ◆ 8KV ESD 保護および 2KV サージ保護機能内蔵
- ◆ ローカルユニットはコンピュータからのバスパワー給電が可能。コンピュータからの給電が不十分な場合には外部電源も使用可能。
- ◆ 簡単セットアップ—ソフトウェア不要。ケーブル接続だけでセットアップ完了。

注意: CE-252L 用の電源アダプタを購入する場合は CE-252R と同一仕様のアダプタをお求めください。

必要システム構成

コンソール

- ◆ 本製品に接続するコンピュータのうち、解像度が高いものを表示するのに適した VGA、SVGA、またはマルチシンクモニタ
- ◆ PS/2 キーボード
- ◆ PS/2 マウス

注意: ローカルユニットに DDC モニタを接続してご利用になる場合は、その DDC モニタが出力可能な最大解像度が表示できるモニタを、リモートユニット側でも使用する必要があります。

コンピュータ

本製品に接続する各コンピュータは、以下の環境を備えている必要があります。

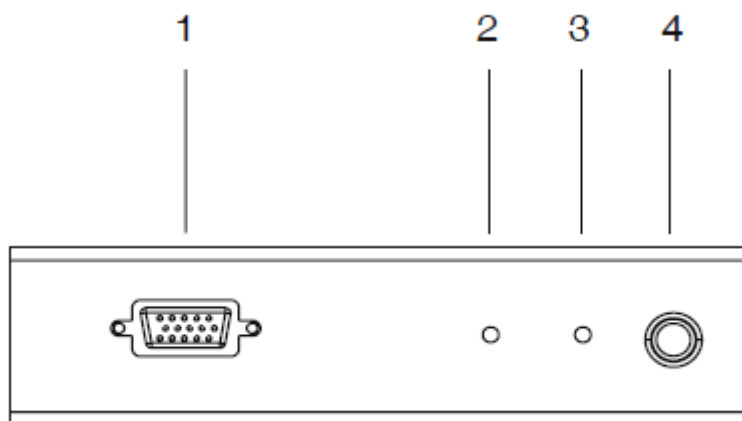
- ◆ VGA、SVGA、マルチシンクモニタ対応ビデオカード
- ◆ ミニ DIN6 ピンマウスポート
- ◆ ミニ DIN6 ピンキーボードポート

ケーブル

- ◆ 市販の延長ケーブルで CE-252 とコンピュータを接続することも可能ですが、信号の品質を維持するためには製品同梱の KVM ケーブルをご使用になられることを推奨いたします。
- ◆ 最適な信号補正を行うために、ローカルとリモートのユニット接続にはカテゴリ 5e LAN ケーブルをご使用下さい。

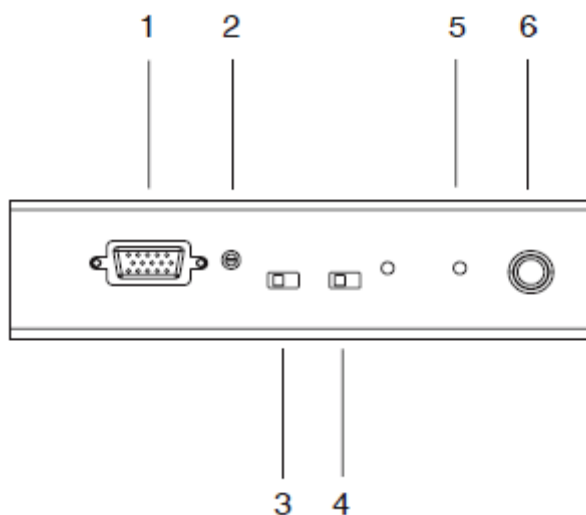
製品各部名称

フロントパネル



No.	名称	説明
1	KVM ポート	CE-252L とローカルコンピュータの接続に使用する KVM ケーブルをここに接続します。
2	ローカル LED	ローカルユニットには 2 つの LED があり、ローカル/リモート各ユニットの動作状態を表示します。詳細については p.31 の「LED 表示」をご参照下さい。
3	リモート LED	
4	ローカル/オート プッシュボタン	このボタンを押して、操作モードを切り替えます。 ローカルモード: ローカルコンソールからの操作のみ可能です。 オートモード: ローカル/リモートの両コンソールからの操作が可能です。 詳細については p.30 の「ローカルコンピュータへのアクセス」をご参照下さい。

CE-252R フロントパネル

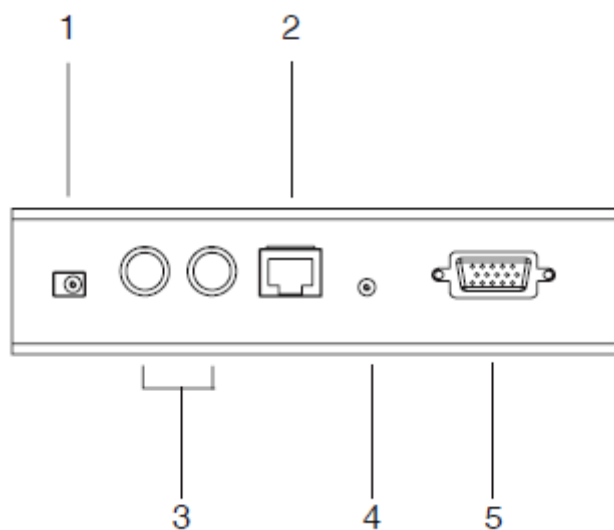


No.	名称	説明
1	KVM ポート	CE-252R とローカルコンピュータの接続に使用する KVM ケーブルをここに接続します。
2	マニュアルゲイン調整	スクレイドライバなどでツマミを回してゲイン調整を行って下さい。
3	オート/マニュアル ゲイン調整切替スイッチ	このスイッチでオートゲインとマニュアルゲインの切替を行います。オートの場合には自動信号補正を行います。マニュアルの場合には手動で信号補正を行います。
4	ホットキー選択スイッチ	ローカルとリモートの KVM 操作を切り替えます。ホットキーとして「CTRL+CTRL」または「SCROLL LOCK+SCROLL LOCK」を選択して下さい。(ホットキーの設定を変えるときにはリモートユニットの電源アダプタケーブルを一度抜き差しして、設定を有効にする必要があります。)リモートコンソールでローカル/リモートのユニット切替を行う方法は p.28 の「ホットキー操作」をご参照下さい。

(表は次のページに続きます)

No.	名称	説明
5	ローカル LED	リモートユニットには2つのLEDがあり、ローカル/リモートの各ユニットの動作状態を表示します。操作状況の詳細については p.31 の「LED 表示」をご参照下さい。
6	リモート LED	

CE-252L/CE-252R リアパネル



No.	名称	説明
1	電源ジャック	AC 電源アダプタを接続します。
2	キーボード/マウスポート	これらの PS/2 ポートにコンソールのキーボード(紫)とマウス(緑)を接続します。
3	リモート I/O ポート	リモート/ローカルユニットの接続に使用するカテゴリ 5 ケーブルをここに接続します。
4	グラウンド端子	この端子を使って接地線を取ります。
5	モニタポート	コンソールモニタの VGA ケーブルを接続します。

注意: ローカルユニット(CE-252L)はコンピュータからのバスパワー給電が可能です。コンピュータからの給電が不足している場合には外部電源をご使用下さい。電源アダプタを購入する場合は CE-252R と同一仕様のアダプタをお求め下さい。

第2章 ハードウェアセットアップ

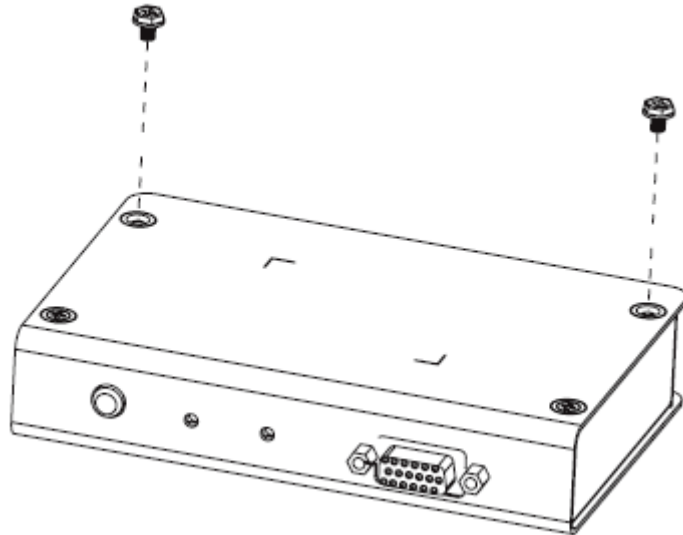


1. 機器の設置に際し重要な情報を p.9 に記載しています。作業の前に、必ず目を通してください。
2. コンピュータやデバイスへのダメージを避けるために、接続されているすべてのデバイスが正しくアースされていることを確認してください。

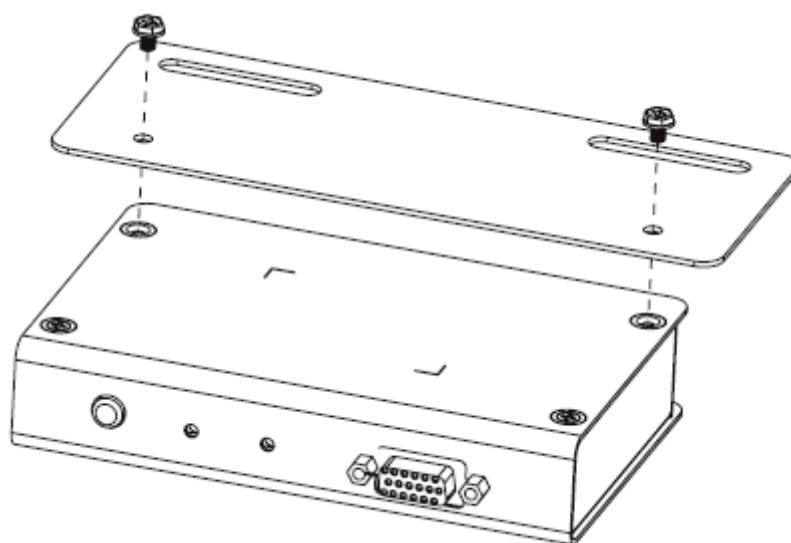
ラックマウント

様々な環境でのご利用を想定し、CE-252L および CE-252R はシステムラックにマウントしてお使いいただける仕様になっております。ラックマウント作業は以下の手順に従って行ってください。

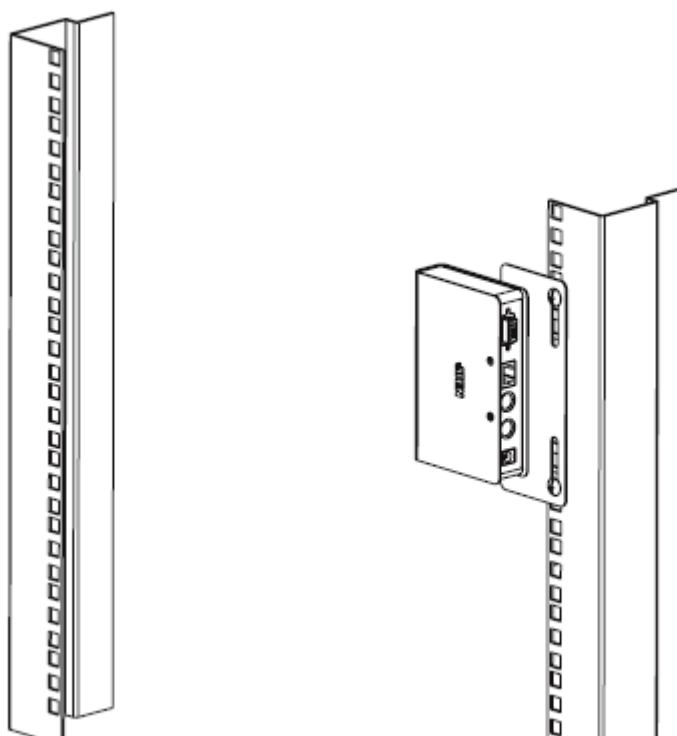
1. 製品底面にあるフロント側のネジ2箇所、ないしはリア側のネジ2箇所をドライバーではずしてください。



2. 手順1ではずしたネジを使って、ラックマウント用の金具を製品に取り付けてください。



3. 製品に取り付けた金具を、システムラックのあいている場所にネジ止めしてください。

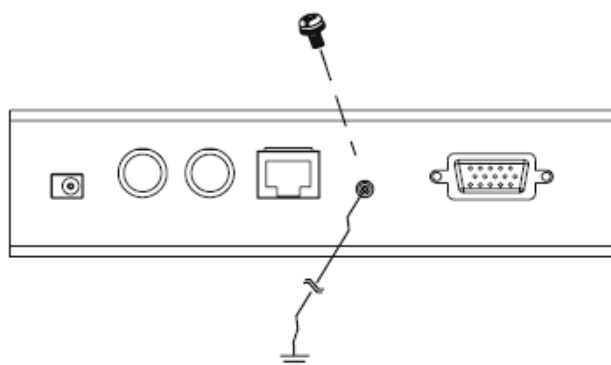


セットアップ

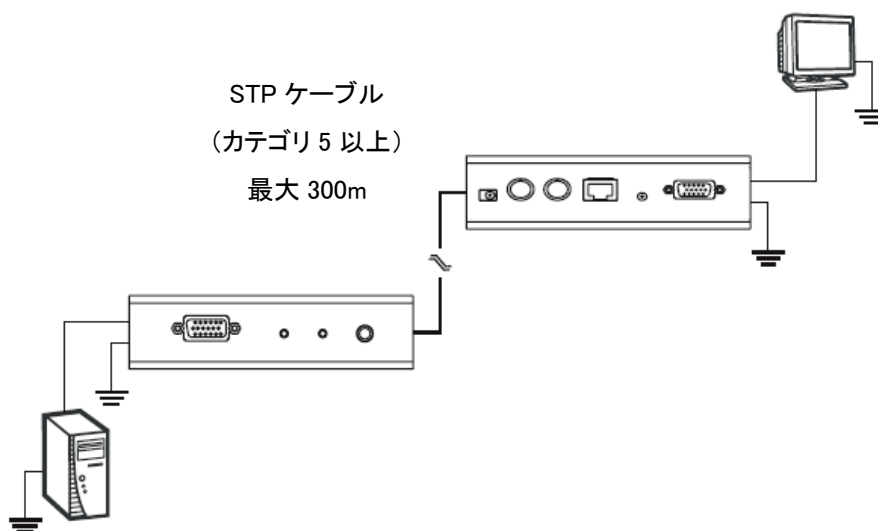
デバイスの接地

コンピュータやデバイスへのダメージを避けるために、接続されているすべてのデバイスを正しく接地してください。

1. 接地線(2本)を、各ユニットで1本ずつ使用して接地作業を行います。接地線の片側を製品本体のグラウンド端子に、もう一方の片側を適切に設置された接地端子にそれぞれ接続します。

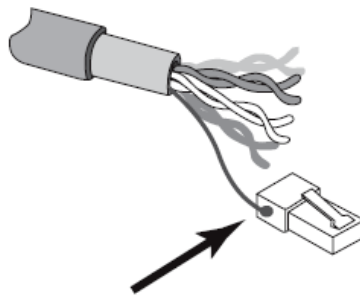


2. CE-252L が接続しているコンピュータ、および CE-252R が接続しているモニタが、それぞれ正しく接地されていることを確認してください。

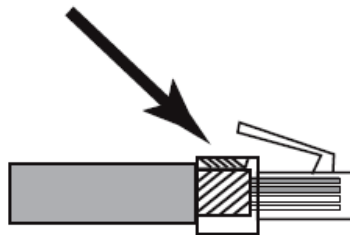


3. 接地の効果の有効にするためには、ローカル・リモートの両ユニットの接続に STP ケーブルをご利用になることが必要です。接続方法には以下の 2 つがあります。

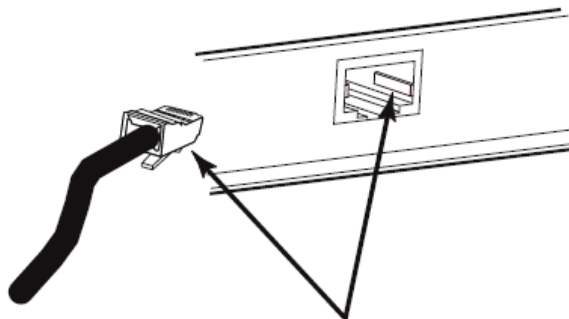
a) STP ケーブルには、信号の伝送に使用する 8 線以外に、接地線が含まれているタイプがあります。下図を参考にしながら、この接地線を RJ-45 コネクタに、はんだ付けしてください。



b) 接地用にシールドされた STP ケーブルを使用する場合は、シールドされた部分が下図のように RJ-45 コネクタの内側の上部にしっかりと固定されていることを確認してください。



上記のいずれの方法でも、RJ-45 コネクタの両サイドが、下図のようにユニットの RJ-45 ポート内側の両側面にしっかりとコンタクトするように接続してください。



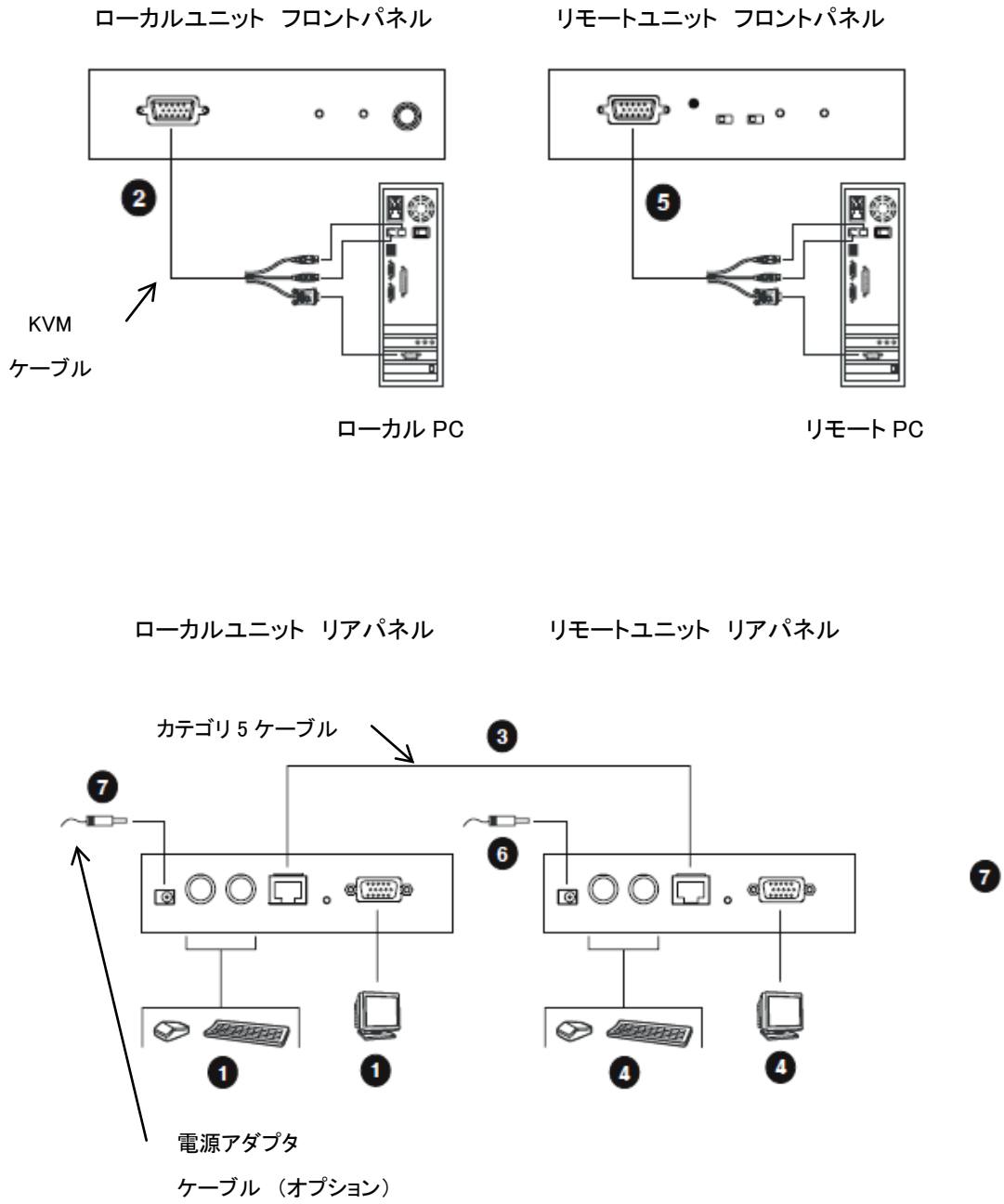
デバイスの接続

CE-252 のセットアップは、ケーブルの取り付けで簡単に行うことができます。次のページの接続図を参考にしながら、以下の手順で作業を行ってください。(図内における番号は下記手順の番号に対応しています。)

1. ローカルコンソールデバイス(マウス、キーボード、モニタ)の各ケーブルをローカルユニット(CE-252L)のリアパネルの該当ポートに接続して下さい。
2. 同梱のKVMケーブルをCE-252Lのフロントパネルの該当ポートに接続し、反対側をコンピュータシステムまたはKVMスイッチのコンソールポートに正しく接続して下さい。ポートにはわかりやすくするため、接続するデバイスのアイコンとPC99 準拠のカラーリングが施されています。
3. カテゴリ 5 のツイストペアケーブルの片側を CE-252L のリモート I/O ポートに接続し、反対側を CE-252R のリモート I/O ポートに接続して下さい。
4. リモートコンソールデバイス(マウス、キーボード、モニタ)の各ケーブルをリモートユニット(CE-252R)のリアパネルの該当ポートに接続して下さい。
5. 同梱のKVMケーブルをCE-252Rのフロントパネルの該当ポートに接続し、反対側をコンピュータシステムまたはKVMスイッチのコンソールポートに正しく接続して下さい。ポートにはわかりやすくするため、接続するデバイスのアイコンとPC99 準拠のカラーリングが施されています。
6. 同梱の AC アダプタを AC コンセントに差し込んで電源ケーブルを CE-252R の電源ジャックに接続して下さい。
7. CE-252L でも AC アダプタをご使用の場合には同様に AC アダプタを AC コンセントに差し込んで電源ケーブルを CE-252L の電源ジャックに接続して下さい。

注意: CE-252L の電源アダプタは別売です。詳細については p.21 の電源ジャックに関する記載をご参照下さい。

接続図



第3章 操作方法

アクセス方法

デフォルトの設定では、リモートコンソールはローカルユニットに接続されたコンピュータを操作することができます。(KVM スイッチ経由でも可能) さらに、リモートコンピュータは自身に追加されたコンピュータや KVM スイッチといったデバイスの操作も可能です。

CE-252R/L KVMエクステンダーはホットキー操作とオートスキャンモードといった2つの方法でコンピュータの操作が可能です。

注意: ハードウェアのセットアップが完了してからリモートコンソールをご使用下さい。詳細は p.26 の「デバイスの接続」をご参照下さい。ホットキー操作とオートスキャンモードはリモートコンソールユーザにのみ有効です。

ホットキー操作

ホットキー操作により、リモートコンソールからローカル/リモートユニットを簡単に切り替えることができます。

ローカル/リモートユニットを切り替えるには以下の手順に従って操作してください。

1. リモートユニットのホットキー選択スイッチを「CTRL+CTRL」または「SCROLL LOCK+SCROLL LOCK」にスライドしてください。(p.19 の「CE-252R フロントパネル」参照)この操作によって、切替で使用するホットキーを設定します。

注意: リモートユニットに KVM スイッチを接続して使用する場合は、ここで選択したホットキーが KVM 操作で使われているモードと異なっていることを確かめて下さい。

2. 手順1で選択したホットキーを、リモートコンソールで2回押して下さい。これによってローカル/リモートユニットの KVM 操作が切り替わります。

オートスキャンモード (ASM)

オートスキャンモードはローカル/リモートユニットの KVM 操作を一定の時間間隔で自動的に切り替えます。したがって、どのコンピュータもいかなるユーザーからの割り込みを受けることなく操作することができます。出荷時のデフォルトのスキャンインターバルは 5 秒に設定されています。

次の手順でオートスキャンモードを立ち上げて下さい。

左側のシフトキーを押して離した後、右側のシフトキーを押して離してください。

[左シフト] [右シフト]

スキャンが開始すると、スペースキーを押してオートスキャンモードを解除するまでスキャンが続きます。スキャンが停止すると、その時に選択されていたポートが引き続き選択されます。

注意: オートスキャンモードが実行されているときは通常のキーボード、マウスの機能はサスペンドされます。通常の操作モードに戻すにはスペースキーを押してオートスキャンモードを解除しなければなりません。

スキャンインターバルの変更

スキャンインターバルを変更したい場合には、オートスキャンを起動する前に、この設定値を変更することができます。スキャンインターバルを変更する場合は、次のホットキー操作を行って下さい。(各キーは押したら離してください。)

[左シフト] [右シフト] [n]

上記の n は、以下の表におけるスキャンインターバルを表す 1~4 の番号です。内容の詳細は下表をご参照ください。

n	スキャンインターバル
1	3 秒
2	5 秒
3	10 秒
4	20 秒

ゲイン調整

CE-252R/L をセットアップした後、信号補正(ゲイン調整)を行うことが可能です。

ゲイン調整の方法にはオートとマニュアルの 2 通りの方法があります。

自動でゲイン調整を行う場合は、リモートユニットのフロントパネルにあるゲイン調整切替スイッチを「AUTO」にスライドしてください。手動でゲイン調整したい場合はスイッチを「MANUAL」にスライドさせ、マニュアルゲイン調整のつまみを左右に回してご使用下さい。

ローカルコンピュータへのアクセス

ローカルユニットのローカル/オートプッシュボタンによりユニットに接続された KVM スイッチの操作を制限することができます。

ローカルボタンを押すとリモートコンソールからローカルコンピュータへの操作が不可能になり、ローカルコンソールでの操作のみが可能となります。オートを選択するとローカル/リモートの両方のコンソールからの操作が可能となります。

LED 表示

CE-252 ではフロントパネルに LED が内蔵されており、下表のとおりに現在の操作状態を表示します。

CE-252L (ローカルユニット)

LED	オート
ローカル	<ol style="list-style-type: none">1. ローカルコンソールが動作しているときは点灯します。2. リモートユニットが動作しているときは消灯しています。3. 両方のコンソールが動作していないときはリモート LED と交互に点滅します。
リモート	<ol style="list-style-type: none">1. リモートコンソールが動作しているときは点灯します。2. ローカルユニットが動作しているときは消灯しています。3. 両方のコンソールが動作していないときはローカル LED と交互に点滅します。

CE-252R (リモートユニット)

LED	オート
ローカル	<ol style="list-style-type: none">1. リモートコンソールがローカルコンピュータにアクセス中、またはアクセス可能な場合に点灯します。2. リモートコンソールがローカルコンピュータにアクセスしていない場合には消灯します。3. ローカルコンピュータへの接続不良の場合には点滅します。
リモート	<ol style="list-style-type: none">1. リモートコンソールが動作しているときは点灯します。2. リモートコンソールが動作していないときは消灯します。

付録

製品仕様

機能		CE-252L	CE-252R
コンピュータ接続数		1	1
コンソール接続数		1	1
コンピュータ側対応	キーボード	PS/2	
インターフェース	マウス		
コンソール側対応	キーボード	PS/2	
インターフェース	マウス		
コンピュータ側コネクタ	キーボード	SPHD メス(イエロー)×1	
	マウス		
	モニタ		
コンソール側コネクタ	キーボード	ミニ DIN6 ピンメス×1	
	マウス	ミニ DIN6 ピンメス×1	
	モニタ	D-sub15 ピンメス×1	
スイッチ	モード選択	プッシュボタン×1	—
	ゲイン選択	—	スライドスイッチ×1
	ホットキー選択	—	スライドスイッチ×1
	ゲイン調整	—	調節ツマミ×1
電源ジャック		DC 電源ジャック×1	
ユニット間接続		RJ-45×1	
LED	ローカル	グリーン×1	グリーン×1
	リモート	グリーン×1	グリーン×1

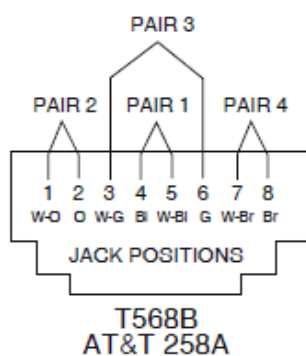
(表は次のページに続きます)

機能		CE-252L	CE-252R
キーボード・マウスエミュレーション		PS/2	
電源仕様(アダプタ)		型番:0AD8-0605-09EG	
		入力:AC100V~240V 50~60Hz	
		出力:DC5.3V 0.94A	
消費電力		2.6W	
延長距離		最大 300m	
VGA 解像度		1,600×1,200@150m、1,024×768@300m	
		ローカルユニットのみ DDC2B 準拠	
動作環境	動作温度	0~50℃	
	保管温度	-20℃~60℃	
	湿度	0~80%RH 結露なきこと	
ケース材料		メタル	
重量		400g	
サイズ(W×D×H)		139×81×34mm	
同梱品		2L-5202P(1.8m)ケーブル×2 電源アダプタ×1 ラックマウントキット×2 クイックスタートガイド×1	

VGA ピンアサイン

ピン	信号	ピン	信号	ピン	信号
1	赤	6	アナロググラウンド	11	ID0
2	緑	7	アナロググラウンド	12	ID1
3	青	8	アナロググラウンド	13	水平同期信号
4	ID2	9	NC	14	垂直同期信号
5	グラウンド	10	グラウンド	15	ID3

TP 配線図



TP ピンアサイン

ピン	アサイン
1	V OUT B
2	/V OUT B
3	V OUT G
4	V OUT R
5	/V OUT R
6	/V OUT G
7	/DO
8	DO

トラブルシューティング

問題	対処
ディスプレイに何も表示されない。	すべてのケーブルが正しくソケットに接続していることを確認してください。
表示画質が悪い。	リフレッシュレートを下げても表示画質を上げてください。
画面にスジやシミ状のものが表示される。	リモートユニットからカテゴリ5ケーブルを一旦抜いて、接続しなおしてください。
ローカルユニットが動作しない。	ローカルコンピュータ、または KVM スイッチに接続されているコンピュータからの電源が十分に供給されていない可能性がありますので、CE-252L 用の電源アダプタをご購入ください。このとき、新たにご購入されるアダプタは CE-252R に同梱されている電源アダプタと同じ仕様のものであることを確認してください。
リモートユニットが動作しない。	同梱されている電源アダプタがリモートユニットの電源ジャックに正しく接続されていることを確認してください。
ユニットを交換したら表示画質が劣化した。	以前の CE-252 モデルは新しいモデルと併用することができません。最適なビデオ出力でご利用頂くために、ローカル/リモートユニットは必ず同時に交換してください。

SPHD コネクタについて



本製品は KVM ポート、またはコンソールポートに対して SPHD コネクタを使用しております。コネクタの形状に改良を加えておりますので、専用の KVM ケーブルのみ製品に接続することが可能です。